

第19回予兆学研究会開催のご案内

『 オープンエンドな進化を目指す人工生命研究 ～予兆の手がかりを求めて～ 』



講師：有田 隆也 先生

名古屋大学大学院情報学研究科複雑系科学専攻 教授

主 催： 名古屋大学大学院情報学研究科

開催日時： 2024年 3月 5日(火) 13:30～15:00

会 場： Zoom オンライン開催（参加費無料）

講演概要

オープンエンド性とは新奇性や複雑性を継続的に生み出す性質であり、生物、文化、テクノロジーのような自己組織系の普遍的特徴である。人工生命研究はオープンエンドな進化をターゲットとして理論的に追究するとともに、計算機内のオープンエンドな進化の実現を試みてきた。本講演では、オープンエンドな進化に関する議論を紹介した上で、オープンエンドな進化の解明を目指す研究事例を2つ紹介する。品質多様性アルゴリズムを応用して多様性を繰り返し広げる仮想生物進化モデルと、原初生命モデル Lenia に種間の「化学反応」を起こす系統分化を導入したモデルである。イノベーションを生み出し続ける進化シナリオを検討するとともに、予兆のウィークシグナルを検知する方法論につながらないか考えたい。

有田隆也教授ご略歴

1988年 東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。工学博士。

同年 名古屋工業大学工学部助手。

1993年 同大学工学部講師。

1994年 名古屋大学情報文化学部助教授。

1995年から1996年まで UCLA 客員研究員。

1998年 同大学大学院人間情報学研究科助教授。

2003年 同大学大学院情報科学研究科教授。現在に至る。

専 門

複雑系科学 人工生命 人間の進化的理解

学 位

工学博士（東京大学、1988年3月）

所属学会

人工知能学会 情報処理学会 日本数理生物学会 日本認知科学会 電子情報通信学会
International Society of Artificial Life

参加申し込み方法

下記のリンクからお申し込みください(参加費無料)。

申し込み期限は2024年 3月 1日 金曜日17:00です。

お申込みいただいた方に、開催 2 日前までを目途に視聴 URL をメールでお知らせします。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScsO7psEMDe0VrtVoRNQa6UISqw_faSgJjOZz9Ovd_oAqvXww/viewform

